

経営体の概要

- ・所在地：山形県高畠町
- ・経営体名：株式会社萩原農園
- ・栽培作物・作付面積：水稻・13ha、大豆・12ha
- ・従業員数：5名（令和6年3月現在）

導入技術

- ・圃場管理システム（KSAS、(株)クボタ製）
- ・空撮用・農薬散布用ドローン（2機）



圃場管理システム画面

ドローン撮影画像による
大豆生育状況把握

導入経緯

- 経営面積の拡大に伴い、農作物生産状況の見える化と農作業の効率化、高品質化を図っていくために、ドローンは平成30年、圃場管理システムは令和元年に導入した。

取組の特徴・効果

- 圃場管理システムの利用によって、水稻と大豆の作付圃場の決定や、圃場ごとの機械作業の管理がスマートフォンやパソコンで処理可能となり、日々の作業日誌の入力や出荷時の栽培履歴の作成における省力化が図られている。
- 空撮用ドローンは、高所からの圃場の撮影により、水稻や大豆の生育状態、病害虫の発生、弾丸暗渠の作業跡の確認等に活用している。
- 農薬散布用ドローンにより作業の省力化が図られるとともに圃場管理システムと連携しデータを蓄積している。
- 圃場管理システムのデータ蓄積を基に、経営内で状況判断し対策を練って経験の浅い従業員に指示することで情報共有がしやすくなり、技術の高位平準化が可能となっている。